

【】 平安京と東アジアの変化

[平安京]

[問題](2 学期中間)

次の文の①，②に適語を入れよ。

奈良時代の後半には，貴族や僧の間で勢力争いが激しくなり，政治が混乱した。そこで (①) 天皇は，新しい都で政治を立て直そうとして，784 年に都を長岡京に移し，次いで 794 年に都を(②)京に移した。

[解答欄]

①	②
---	---

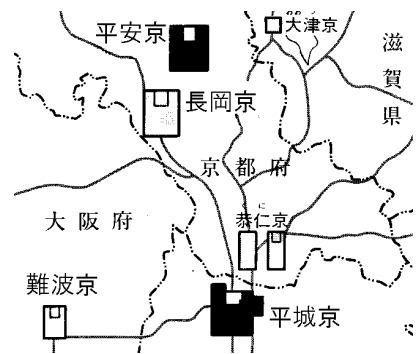
[解答]① 桓武 ② 平安

[解説]

奈良時代の後半には，貴族や僧の間で勢力争いが激しくなり，政治が混乱した。そこで，桓武天皇は，新しい都で政治を立て直そうとして，

[平安京]
桓武天皇 794年
貴族や僧の間で勢力争いで政治が混乱したため

784 年に都を長岡京に移し，ついで 794 年に都を平安京(今の京都市)に移した。そのさい，仏教の勢力が政治と結びつくのをきらい，奈良にある寺が平安京に移ることを禁じた。(鳴くよ(794)ウグイス平安京)



794 年から 1185 年に鎌倉幕府が成立するまでの約 400 年間は平安時代という。

※この単元で特に出題頻度が高いのは「桓武天皇」である。「平安京」の出題頻度も高い。

[問題](2 学期中間)

794 年に都が現在の京都の位置に移された。これについて，次の各問いに答えよ。

- (1) 794 年に都を移した天皇は誰か。
- (2) その都の名は何か。
- (3) 都を(2)に移した理由としてあてはまるものを次から 1 つ選べ。
 - ア 奈良の都がせまくなったため。
 - イ 貴族や僧の間で勢力争いが激しくなり，政治が混乱したため。
 - ウ 朝廷の税による収入がふえたため。

[解答欄]

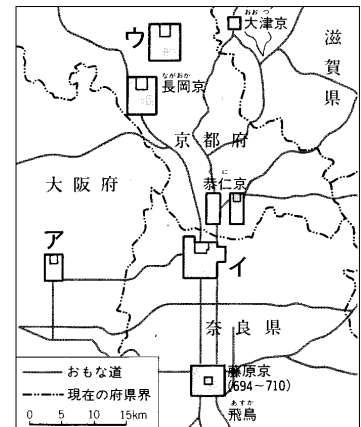
(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 桓武天皇 (2) 平安京 (3) イ

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 都を平安京に移した天皇は誰か。
- (2) 都を平安京に移したのは何年のことか。
- (3) 平安京は現在の何市にあたるか。
- (4) 平安京の位置を右の資料中のア～ウから 1 つ選び、記号を書け。
- (5) (2)以降、鎌倉幕府が成立するまでの約 400 年間を何時代というか。
- (6) (1)の天皇が平安京へ都を移した理由を「貴族や僧」「混乱」という語句を使って説明せよ。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			
(6)			

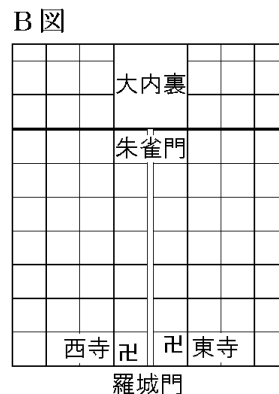
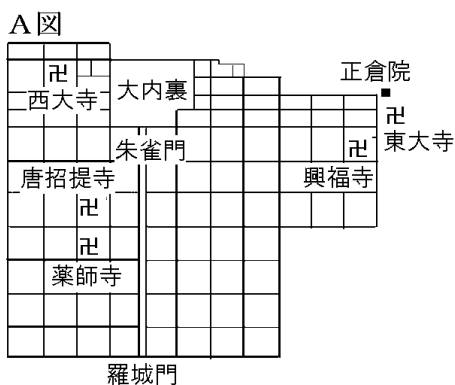
[解答](1) 桓武天皇 (2) 794 年 (3) 京都市 (4) ウ (5) 平安時代 (6) 貴族や僧の間で勢力争いが激しくなり、政治が混乱したため。

[解説]

(3)(4)平安京は、現在の京都市で、琵琶湖の南端の西側のウの位置である。アは難波京、イは平城京である。

[問題](1 学期期末)

平安京の地図は次の A、B のどちらか。



[解答欄]

[解答]B

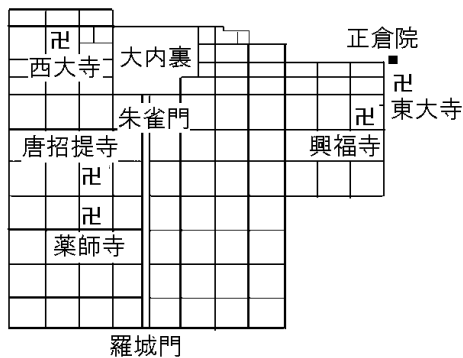
[解説]

Aは奈良時代に聖武天皇が建てた東大寺や、鑑真が開いた唐招提寺があるので平城京であると判断できる。Bが平安京である。平城京と比べて平安京には寺の数が少ないことが地図から読み取れるが、これは、仏教の勢力が政治と結びつくのをきらい、奈良にある寺が平安京に移ることを禁じたからである。

[問題](1 学期期末)

次の資料を見て、後の各問いに答えよ。

[平城京]



[平安京]



(1) 平城京と平安京の様子で大きく違うところは何か。(寺に注目)

(2) (1)の理由を、「桓武天皇」「仏教」「政治」という語句を使って説明せよ。

[解答欄]

(1)

(2)

[解答](1) 平城京と比べて平安京には寺の数が少ない。(2) 桓武天皇は、仏教の勢力が政治と結びつくのをきらい、奈良にある寺が平安京に移ることを禁じたから。

[東北への支配の拡大]

[問題](3 学期)

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

794年に(①)天皇は、律令政治を立て直すために、都を平安京に移した。(①)天皇は、東北地方の(②)を支配するため、797年に(③)を征夷大將軍に任じて、遠征させた。

[解答欄]

①

②

③

【解答】① 桓武 ② 蝦夷 ③ 坂上田村麻呂

【解説】

奈良時代のころ、律令国家の支配が及んだのは関東地方までであった。東北地方に住む人々は、朝廷から異種の文化をもつ異民族あつかいにされ、蝦夷と呼ばれた。朝廷はしだいに東北地方への支配を拡大していったが、これに対し蝦夷の人々は、アテルイを指導者として激しく抵抗した。桓武天皇は、797年に坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命して、大軍を送ってアテルイの軍を降伏させ、支配を拡大させた。

[東北への支配の拡大]

桓武天皇

坂上田村麻呂を征夷大將軍に

↓
蝦夷 アテルイ

※この単元で出題頻度が高いのは「坂上田村麻呂」「征夷大將軍」「蝦夷」である。

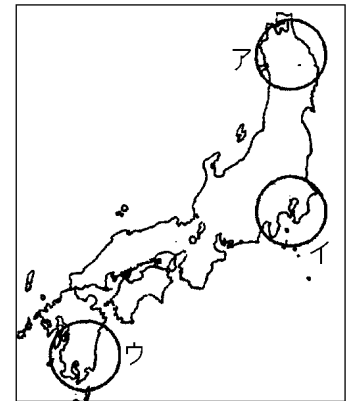
【問題】(2 学期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 平安時代に蝦夷と呼ばれた人々が生活していた地域を、右の資料中のア～ウから1つ選び、記号を書け。
- (2) 蝦夷平定のために征夷大將軍に任じられた人物を、次から1人選べ。

[紀貫之 小野妹子 源頼朝 坂上田村麻呂]

- (3) 桓武天皇は(2)の人物に命じて、蝦夷の住む東北地方を討伐させ、蝦夷の指導者を河内国で処刑させた。蝦夷の指導者の名を答えよ。



【解答欄】

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

【解答】(1) ア (2) 坂上田村麻呂 (3) アテルイ

【問題】(1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 797年に征夷大將軍に任じられた人物を答えよ。
- (2) (1)の人物が派遣された地方を、次から1つ選べ。
[九州地方 四国地方 東北地方 北海道地方]
- (3) この当時、(2)に住む人々は何と呼ばれていたか。

【解答欄】

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

【解答】(1) 坂上田村麻呂 (2) 東北地方 (3) 蝦夷

[空海と最澄]

[問題](2 学期中間)

次の文の①，②に適語を入れよ。

9世紀のはじめに，遣唐使とともに唐にわたった2人の人物によって仏教の新しい宗派が日本に伝えられた。すなわち，(①)は高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を開き，(②)は比叡山に延暦寺を建てて天台宗を開いた。

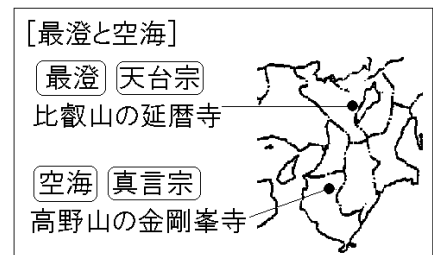
[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 空海 ② 最澄

[解説]

奈良時代に仏教が政治と結びついて腐敗したため，桓武天皇は僧侶の資格を厳しくするなどして，それをあらためようとした。これに応じて仏教界にも改革の動きが起こった。最澄と空海は，教典の研究を中心とする奈良仏教にあきたらず，仏教の本来のあり方を求めて修行を重ね，遣唐使にしたがって唐にわたった。帰国後，最澄は比叡山に延暦寺(滋賀県・京都府)を建てて天台宗を，空海は高野山に金剛峯寺(和歌山県)を建てて真言宗を開いた。いずれも，人里はなれた山奥の寺で学問や厳しい修行を行った。やがてこの新しい仏教は，貴族たちの間に広く受け入れられていった。



※この単元で出題頻度が高いのは「最澄・天台宗」「空海・真言宗」である。「比叡山の延暦寺」「高野山の金剛峯寺」もときどき出題される。

[問題](3 学期)

平安時代には2つの新しい仏教がおこった。次の文中の①～④に語句を入れよ。

- ・最澄は，比叡山に(①)寺を建て，(②)宗を開いた。
- ・空海は，高野山に(③)寺を建て，(④)宗を開いた。

[解答欄]

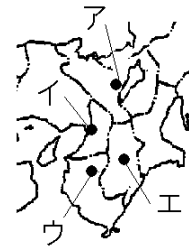
①	②	③	④
---	---	---	---

[解答]① 延暦 ② 天台 ③ 金剛峯 ④ 真言

[問題](1 学期期末)

次の表の①～⑥に適語を入れよ。また、a、bの場所を右の地図のア～エから選べ。

人物(開祖)	宗派	寺院	場所
(①)	(②)宗	高野山(③)寺	a
(④)	(⑤)宗	比叡山(⑥)寺	b



[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	a	b

[解答]① 空海 ② 真言 ③ 金剛峯 ④ 最澄 ⑤ 天台 ⑥ 延暦 a ウ b ア

[問題](1 学期中間)

次の各問いに答えよ。

- (1) 最澄や空海が仏教を学んだ中国の王朝名を答えよ。
- (2) 最澄や空海によって仏教の新しい宗派が伝えられたが、その特色にあてはまるものを次から1つ選べ。
 - ア 各地で阿弥陀堂がさかんにつくられた。
 - イ 念仏を唱えて阿弥陀如来にすがることにといた。
 - ウ 人里はなれた山奥の寺で学問や厳しい修行を行った。
 - エ 国ごとに国分寺と国分尼寺がつけられた。
- (3) 空海が開いた金剛峯寺は現在の何県にあるか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 唐 (2) ウ (3) 和歌山県

[解説]

(2)アは平安後期の浄土信仰。イは鎌倉時代の浄土宗・浄土真宗など。エは奈良時代

[東アジアの変化と遣唐使の停止]

[問題](2 学期期末)

次の文の①に適語を入れ、②、③は()内より適語を選べ。

9世紀に唐の勢力は急速におとろえた。894年に遣唐使に任命された(①)は、唐のおとろえと往復の危険を理由に遣唐使の停止をうたえて認められ、これ以降遣唐使は派遣されなかった。唐は10世紀のはじめにほろび、小国の分立を経て、②(漢／隋／宋)が中国を統一した。同じころ朝鮮半島には③(高麗／百濟／新羅)がおこった。これらの国との公式な交流はなかったが、商人たちが日本に文物をもたらした。

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 菅原道真 ② 宋 ③ 高麗

[解説]

7世紀の初めに隋にかわって中国を統一した唐は、その後、発展をとげた。日本は遣唐使を通じてその文化や政治制度を取り入れた。しかし、9世紀後半には唐の勢力がおとろえ、もうそれ以上学び取るべきものは少なくなっていた。また、当時の船は平底で横波に極端に弱かったため、嵐にあつて遭難する確率が非常に高かった。

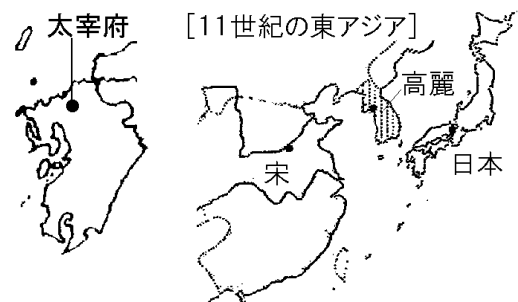
遣唐使に任命された菅原道真は、894年、唐のおとろえと往復の危険を理由に遣唐使停止の建白を出して承認された。(白紙(894)に返せ遣唐使) 菅原道真は、藤原氏をおさえるために天皇によって引き立てられた人であるが、その後、藤原氏の陰謀によって太宰府(福岡県)に左遷された。

中国では、唐が10世紀の初めに滅び、数十年の内乱の後、10

世紀後半に宋が国内を統一した。朝鮮半島では10世紀の初めに高麗がおこり、やがて新羅をほろぼした。日本は宋や高麗とは正式な国交を結ばなかったが、両国の商人が交易を行った。

※この単元で出題頻度が高いのは「菅原道真」である。

[東アジアの変化と遣唐使の停止]	
894年	遣唐使の停止 ← 菅原道真
907年	唐が滅ぶ
936年	高麗が朝鮮半島を統一
960年	宋がおこる



[問題](1 学期期末)

遣唐使について次の各問いに答えよ。

- (1) 遣唐使を停止したのは西暦何年のことか。
- (2) 遣唐使を停止することを進言した人物は誰か。
- (3) 遣唐使を停止することにした理由として適切でないものを1つ選べ。
 - ア 学ぶものが少なくなったから。
 - イ 唐が滅んだから。
 - ウ 航海が危険だったから。
- (4) 唐が滅んだあと、中国は多くの国に分かれて乱れていたが、10世紀半ばすぎに中国を統一した王朝名を書け。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

[解答](1) 894年 (2) 菅原道真 (3) イ (4) 宋

[解説]

(3) イが誤り。遣唐使停止は894年で、唐の滅亡は907年である。

[問題](1 学期期末)

右の資料を見て、次の各問いに答えよ。

(1) 資料中の A の王朝名を次の[]から選べ。

[漢 宋 唐 隋]

(2) 資料中の B の国名を次の[]から選んで書け。

[高麗 新羅 百済 高句麗]

(3) 資料中の A, B の国と日本との関係として正しいものを次のア～オから2つ選び記号で答えよ。

ア 朝廷からたびたび使節を送った。

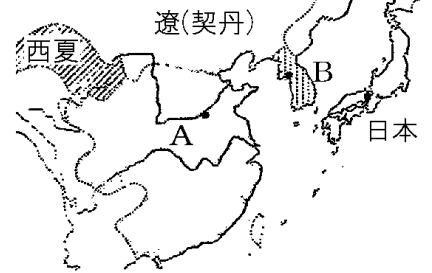
イ 正式な国交は結ばれなかった。

ウ 貿易は禁止されていた。

エ 商人を通じ、文物が輸入された。

オ 日本は A, B の連合軍と戦って敗れた。

[11世紀の東アジア]



[解答欄]

(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 宋 (2) 高麗 (3) イ, エ

[問題](3 学期)

平安時代、藤原氏の陰謀で、菅原道真が左遷された「大宰府」の場所を、右の地図中ア～エから1つ選び、記号で書け。

[解答欄]

[解答]エ



[全般]

[問題](前期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 貴族や僧の勢力争いをさげ、律令政治を立て直そうと、794年に都を移した天皇は誰か。
- (2) (1)の都を何というか。
- (3) この当時、東北地方に住む人々は何と呼ばれたか。
- (4) 朝廷は、支配に従おうとしない(3)を討伐するため、797年に①誰を、②何という役職に任命したか。
- (5) ①比叡山に延暦寺を建てたのは誰か。②また、何という宗派を開いたか。
- (6) ①高野山に金剛峯寺を建てたのは誰か。②また、何という宗派を開いたか。
- (7) 894年に遣唐使の停止が決められたが、それを進言した人物は誰か。
- (8) 唐は10世紀の初めに滅び、小国の分立を経て、何という国が中国を統一したか。
- (9) 朝鮮半島では、10世紀の初めに何という国がおこり、やがて新羅をほろぼしたか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)①
②	(5)①	②	(6)①
②	(7)	(8)	(9)

[解答](1) 桓武天皇 (2) 平安京 (3) 蝦夷 (4)① 坂上田村麻呂 ② 征夷大將軍 (5)① 最澄 ② 天台宗 (6)① 空海 ② 真言宗 (7) 菅原道真 (8) 宋 (9) 高麗

【】 摂関政治と国風文化

[藤原氏の摂関政治]

[問題](2 学期中間)

藤原氏は天皇が幼い時には摂政，成長してからは関白という職について、政治の実権をにぎったが、このような政治を何というか。

[解答欄]

--

[解答] 摂関政治

[解説]

他の貴族をしりぞけて勢力をのぼした藤原氏は、9 世紀後半には、天皇が幼いときは摂政，成人してからは関白の職につき、政治の実権をにぎるようになった。これを摂関政治という。

藤原氏は 11 世紀ころ、藤原道長とその子藤原頼通の時代に全盛期を迎えた。藤原道長は 4 人の娘をつぎつぎに皇后や皇太子妃とし、30 年にわたって権勢をふるった。(威令広(1016)まる道長さん) その子藤原頼通は 3 天皇 50 年間にわたって摂政・関白をつとめた。藤原頼通は、浄土信仰の影響を受けて、宇治に平等院鳳凰堂をつくった。

※この単元で特に出題頻度が高いのは「摂関政治」「藤原道長」である。「藤原頼通」「摂政」「関白」の出題頻度も高い。

[藤原氏の 摂関政治]	
天皇が幼いときは	摂政
天皇が成人すると	関白
11世紀 最盛期	藤原道長・藤原頼通

[問題](2 学期中間)

次の文を読んで、後の各問いに答えよ。

藤原氏は他の貴族をしりぞけて勢力をのぼし、9 世紀後半には、天皇が幼少のときは (①)，成長してからは(②)という職について政治の実権をにぎった。

- (1) 文中の①，②にあてはまる語句を答えよ。
- (2) 下線部について、この政治を何というか。
- (3) 下線部について、藤原氏の勢力がもっともさかんだったときの父子の名前を答えよ。

[解答欄]

(1)①	②	(2)
(3)		

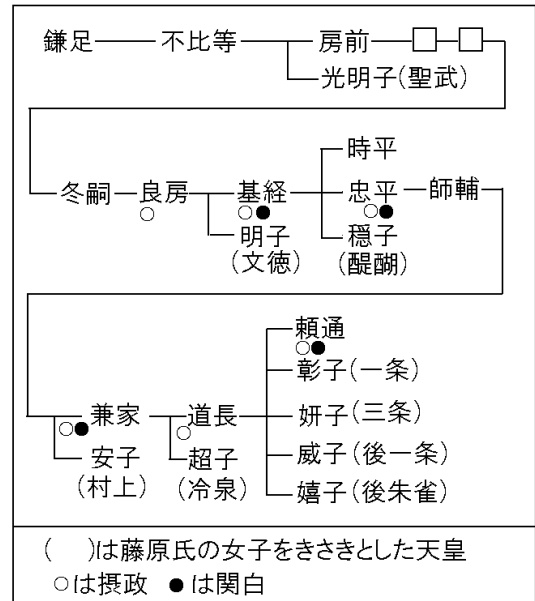
[解答](1)① 摂政 ② 関白 (2) 摂関政治 (3) 藤原道長，藤原頼通

[問題](1 学期期末)

右の資料を見て、次の各問いに答えよ。

- (1) 藤原氏の摂政，関白のはじめは，それぞれ誰かを書け。
- (2) 藤原氏が全盛期にあったときの人物を右の資料の中から 2 人選んで書け。
- (3) (2)のうち，平等院鳳凰堂を建てたのは誰か。
- (4) 藤原氏の全盛期は，何世紀か。
- (5) 藤原氏の行った政治についての次の文中の①～③にあてはまる語句を書け。

自分の娘をつぎつぎに(①)のきさきとして，その子どもを次の(①)に立てた。(①)が幼いときは(②)として，(①)が成人すると(③)として政治の実権をにぎった。



[解答欄]

(1)摂政：	関白：	(2)
(3)	(4)	(5)①
③		②

[解答](1)摂政：藤原良房 関白：藤原基経 (2) 藤原道長，藤原頼通 (3) 藤原頼通 (4) 11世紀 (5)① 天皇 ② 摂政 ③ 関白

[解説]

(1)(2) 平安時代のはじめ(9世紀前半)，桓武天皇などの時代は天皇が強い権力をにぎっていた。しかし，9世紀の中ごろ～後半に，資料にある藤原良房は臣下で初めて摂政となり，藤原基経は関白になった。その後，つねに摂政・関白がおかれるようになり，藤原氏の摂関政治が行われた。摂関政治の絶頂期は，藤原道長(1016年に摂政になる)とその子頼通が権勢を誇った11世紀であった。

[藤原氏の勢力拡張方法]

[問題](2 学期中間)

藤原氏はどのようにして勢力をのぼしたか。「娘」「天皇」「きさき」という語句を使って説明せよ。

[解答欄]

[解答]娘を天皇のきさきにし，その子を次の天皇に立てることで勢力をのぼした。

【解説】

藤原氏は他の貴族をしりぞけて次第に権力をにぎっていったが、その秘訣は、自分の娘を天皇のきさきとすることであった。娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てることで勢力をのばした。藤原

【藤原氏の勢力拡張方法】

娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てることで勢力をのばした。

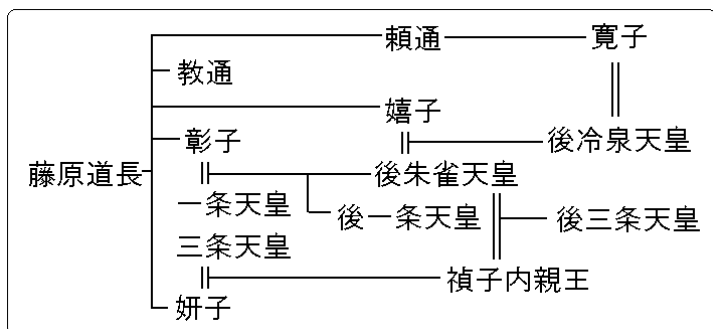
氏の全盛時代を築いた藤原道長は4人の娘をつぎつぎに皇后や皇太子妃として、30年にわたって朝廷内で大きな権勢をふるった。

※この単元で特に出題頻度が高いのは「娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てることで勢力をのばした」である。

※当時の貴族社会では、子供は母方の家で育てられる習慣であった。天皇と藤原道長(など)の娘であるきさきとの間に生まれた男の子(将来の天皇)は、きさきの実家である藤原道長のもとで育てられたので、おじいさんである藤原道長は将来の天皇になるこの男の子にとって身近な存在となった。幼くして即位した場合、藤原道長がその後見役(摂政)になるのは自然の成り行きである。

【問題】(2学期中間)

次の系図を見て、各問いに答えよ。



- 上の系図は、天皇家と何氏との関係を示したもののか。
- 一条天皇と三条天皇のきさきは、だれの娘か。系図中から選べ。
- (2)の人物にとって、後一条天皇はどのような関係にあたるか。
- (2)の人物や藤原頼通がついた、幼い天皇を助けて政治を行う職を何というか。
- 成人した天皇を助けて政治を行う職を何というか。
- 系図から、(2)の人物がどのようにして勢力をのばしたことがわかるか。簡潔に書け。

【解答欄】

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)		

【解答】(1) 藤原氏 (2) 藤原道長 (3) 孫 (4) 摂政 (5) 関白 (6) 娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てることで勢力をのばした。

[問題](1 学期中間)

「この世をばわが世とぞ思う 望月の 欠けたることも 無しと思えば」という歌について、次の各問いに答えよ。

- (1) この歌を歌ったのは誰か。
- (2) この歌はどのようなことを歌ったものであるか。

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 藤原道長 (2) 自分(藤原道長)の権勢が絶頂期にあるということ。

[解説]

道長は、娘の一人を天皇のきさきとすることに成功したとき、自分の権勢が絶頂期にあるうれしさを「この世をばわが世とぞ思う 望月の 欠けたることも 無しと思えば (この世は私のためにあるようなものだ。満月の欠けたところがないように私の思うようにならない事一つも無い) 」という歌で表している。さらに、藤原道長の子である頼通は、3 天皇 50 年間にわたって摂政・関白をつとめ、我が世の榮華を楽しんだ。

[問題](2 学期中間)

藤原道長がよんだ次の歌の①，②に適語を入れよ。

「この世をば(①)とぞ思う (②)の欠けたることもなしと思へば」

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① わが世 ② 望月

[地方政治の乱れ]

[問題](1 学期期末)

次の文章中の①，②に適語を入れよ。

藤原氏の摂関政治は、11 世紀前半の藤原道長とその子藤原(①)のころが最もさかんであった。しかし、地方の政治はほとんど(②)にまかされたので、自分の収入を増やすことだけにはげんだり任地に代理を送って収入だけを得たりする(②)が多くなり、地方の政治は乱れた。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 頼通 ② 国司

【解説】

10世紀になると、地方の政治は国司にまかせきりになり、不正を行う国司も出て、地方の政治は乱れた。

班田収授法と租・庸・調の税制は、すでに奈良時代に行きづまっていたが、平安時代にはいり、班田の給付はほとんど行われなくなっていた。このままでは財政を維持することが難しくなったため、朝廷は、10世紀にはいって方針を変更し、国司に一定額の税の納入を請け負わせるかわりに、その国の統治をすべてまかせるようになった。国司は、やがて課税率をある程度自由にきめることができるようになり、私腹を肥やし、巨利をむさぶる者が現れた。国司の中には強欲な者も少なからずおり、尾張国の国司のように有力農民や郡司によって、その暴政を訴えられる者もあった。

こうした国司の不正に対して取りしまりをおこなうべき中央政府(藤原氏の摂関政治)は、ほとんど何もせず、それどころか、国司の官職を売買することが行われていたのである。摂関政治のころには、朝廷の政治は先例や儀式を重んじる形式的なものとなり、国政に関して積極的な政策をとることはほとんど見られなくなっていた。

※この単元はたまに出題される。

【問題】(2学期中間)

平安時代の地方の様子について、次のように書き出した。この文の続きとして、()にはいる最も適切な文を、下のア～エから1つ選べ。

平安時代、政治の実権は、藤原氏がにぎっていた。()

ア そのため、地方にも藤原氏の監視が行き届き、地方政治は安定した。

イ しかし、地方の政治は国司にまかせきりになり、不正を行う国司も出て、地方の政治は乱れた。

ウ しかし、地方では農民中心の政治が完成しており、藤原氏の影響はなかった。

エ しかし、地方では藤原氏の影響は弱く、地方に住む人々は豊かな生活ができた。

【解答欄】

【解答】イ

【問題】(1学期期末)

藤原氏の権力を支えたのは、ぼう大な私有地だが、この私有地を何というか。

【解答欄】

【解答】荘園

【解説】

荘園が発生したのは、奈良時代に墾田永年私財法(743年)が出された後である。貴族や寺院は、浮浪農民などを使って荒地を開墾し、荘園という私有地を広げていった。このような初期の荘園は、私有地であるが、租税を納める義務は負っていた。

しかし、やがて、藤原氏などの貴族や有力寺院はその権力を悪用して、自分の荘園を「これは田ではなく、自分の邸宅の庭(荘園)である」という理屈をつけて、租税がかからないようにしていった。

【国風文化】

【問題】(1 学期期末)

次の文章中の①、②に適語を入れよ。

平安時代半ばの貴族たちは、唐風の文化をふまえながらも、日本の風土や生活、日本人の感情に合った文化を生み出していった。これを(①)文化という。なかでも、漢字を変形した(②)文字が生まれ、それまでの漢文と違って、細やかな感情をそのまま書き表すことができるようになり、古今和歌集、源氏物語、枕草子などのすぐれた文学作品が生まれた。

【解答欄】

①	②
---	---

【解答】① 国風 ② 仮名

【解説】

平安時代半ばの貴族たちは、唐風の文化をふまえながらも、日本の風土や生活、日本人の感情に合った文化を生み出していった。これを国風文化という。国風文化のなかで一番重要なのは、わが国独自の仮名文字が発明されたことである。それまで、文章は漢字を用いて漢文で書くか、万葉仮名のように漢字の音を借用して書き表すよりほかなかった。例えば、「から衣 すそに取りつき 泣く子らを 置きてぞ来ぬや 母なしにして」という万葉集に収められている防人の歌は、もともと万葉仮名で「可良己呂武須宗・・・」と書き表されるが、これは書くのも読むのも大変であった。そこで、漢字の一部をとって片仮名が作られ、万葉仮名に使われた漢字のくずし字から平仮名が作られた。平仮名はおもに女性の間で使われた。仮名文字は、それまでの漢文と違って、細やかな感情をそのまま書き表すことを容易にし、国文学の発達をもたらした。和歌の分野では、紀貫之が編集した古今和歌集、小説では紫式部の源氏物語、随筆では清少納言の枕草子が名高い。

【国風文化】

仮名文字の発明→国文学の発達

源氏物語 紫式部

枕草子 清少納言

古今和歌集 紀貫之らが編集

※この単元で出題頻度が高いのは「国風文化」「仮名文字」「枕草子・清少納言」「源氏物語・紫式部」「古今和歌集」である。

[問題](1 学期期末)

次の文章中の①～④に適語を入れよ。

平安時代、漢字を変形した(①)文字が生まれ、それまでの漢文と違って、細やかな感情をそのまま書き表すことができるようになり、国文学が発達した。紀貫之らが編集した(②)和歌集、紫式部の(③), 清少納言の(④)などのすぐれた文学作品が生まれた。

[解答欄]

①	②	③	④
---	---	---	---

[解答]① 仮名 ② 古今 ③ 源氏物語 ④ 枕草子

[問題](2 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 平安時代に発達した、日本風の文化のことを何文化というか。
- (2) 紀貫之らが編集した和歌集は何か。
- (3) 紫式部が書いた長編小説は何か。
- (4) 清少納言が書いた随筆は何か。
- (5) (2)～(4)で使われている、漢字をもとにしてつくられた文字を何というか。

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)			

[解答](1) 国風文化 (2) 古今和歌集 (3) 源氏物語 (4) 枕草子 (5) 仮名文字

[問題](1 学期期末)

平安時代の半ば、日本の風土に合った文化が発達した。次の各問いに答えよ。

- (1) この文化を何というか。
- (2) 紀貫之が編集した和歌集を何というか。
- (3) 源氏物語の作者は誰か。
- (4) 枕草子の作者は誰か。
- (5) 右の資料について、次の①, ②, ④に適語を入れよ。③は()

内より適語を選べ。

漢字の一部をとって(①)仮名が作られ、万葉仮名に使われた漢字のくずし字から(②)仮名が作られた。(②)仮名はおもに③(男性/女性)の間で使われた。漢字をもとにつくられたこのような文字を(④)という。

安あ 以い 宇う 夜え 於お	阿ア 伊イ 宇ウ 江エ 於オ
----------------------------	----------------------------

[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
(5)①	②	③	④

[解答](1) 国風文化 (2) 古今和歌集 (3) 紫式部 (4) 清少納言 (5)① 片 ② 平 ③ 女性 ④ 仮名文字

[問題](2 学期中間)

次の各問いに答えよ。

(1) 国風文化の特徴を正しく説明した文を次のア～ウから1つ選べ。

- ア 中国や西アジア，インドなどの文化の影響を受けた文化。
- イ 仏教と唐の文化の影響を強く受けた文化。
- ウ 日本の風土や生活感情にあった文化。

(2) 平安時代半ばにすぐれた文学作品がつくられるようになった理由を，「仮名文字」「細やかな感情」という語句を使って説明せよ。

[解答欄]

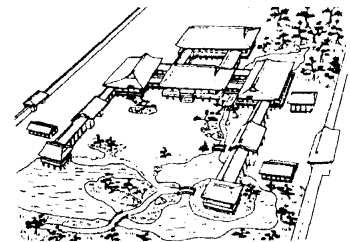
(1)
(2)

[解答](1) ウ (2) 仮名文字の発明によって細やかな感情を書き表すことができるようになったから。

[問題](3 学期)

次の各問いに答えよ。

- (1) 右の図は，代表的な貴族の住居である。何造と呼ばれるものか。
- (2) 平安時代にさかんにえがかれた絵を何というか。
- (3) 国風文化の特徴を「貴族」「風土」という語句を使って簡潔に説明せよ。



[解答欄]

(1)	(2)
(3)	

[解答](1) 寝殿造 (2) 大和絵 (3) 平安時代の貴族たちの，日本の風土や生活，日本人の感情に合った文化。

[解説]

貴族たちの服装は日本風にかわり、上級貴族は、美しい自然を庭園に取り入れた寝殿造の邸宅に住んだ。絵画にも日本の風景や人物がえがかれるようになり、大和絵と呼ばれた。
※この単元で出題頻度が高いのは「大和絵」である。

[浄土信仰]

[問題](1 学期期末)

次の文中の①、②に適語を入れよ。

10世紀半ば、念仏を唱えて阿弥陀如来にすがり極楽浄土へ生まれ変わることを願う(①)信仰がおこり、都の貴族からしだいに地方にも広まった。藤原頼通は、宇治に右図のような(②)をつくった。



[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 浄土 ② 平等院鳳凰堂

[解説]

平安時代中ごろ、盗賊の横行など社会が乱れ、地震・火災・日照り・洪水などの災害もひんぱんに起こった。このころ、シャカの死後2000年から末法の世になるという末法思想が広まり、阿弥陀如来にすがって念仏を唱えれば極楽浄土に生まれ変わることができるという浄土信仰が、不安をつのらせた貴族や庶民の心をとらえた。藤原頼通は、この世に極楽浄土のようすを表そうとして、宇治(現在の京都府宇治市)に寝殿造の平等院鳳凰堂(右図)を建てた。また、奥州の藤原氏は平泉に中尊寺金色堂を建てた。

[浄土信仰]

阿弥陀如来, 念仏, 極楽浄土

平等院鳳凰堂(宇治):藤原頼通
中尊寺金色堂(平泉)

(平等院鳳凰堂)



※この単元で特に出題頻度が高いのは「平等院鳳凰堂」である。「浄土信仰」の出題頻度も高い。

[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 藤原頼通が建てた右の建物を何というか。
- (2) (1)は現在の何市にあるか。
- (3) (1)ともっとも関係が深いのは次のうちどれか。

[天台宗 真言宗 禅宗 浄土信仰]

- (4) 奥州の藤原氏が建てた東北地方の平泉にある寺院を何というか。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

[解答](1) 平等院鳳凰堂 (2) 宇治市 (3) 浄土信仰 (4) 中尊寺

[問題](3 学期)

右の仏像は平安時代に作られたものである。この仏像に関する以下の説明文の①～③にあてはまる語句を書け。

この仏像は(①)如来像という。この仏像が作られたころは末法思想という考えが広まっていて、(②)を唱えることによって極楽浄土へ生まれ変われるという(③)信仰が広まった。



[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 阿弥陀 ② 念仏 ③ 浄土

[問題](3 学期)

浄土信仰とはどのような信仰か。「阿弥陀如来」「念仏」「極楽浄土」という語句を使って簡潔に説明せよ。

[解答欄]

--

[解答]阿弥陀如来にすぎり念仏を唱えれば極楽浄土に生まれ変わることができるとする信仰。

[全般]

[問題](2 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 藤原氏は、天皇が幼いときは(①)として、天皇が成人すると(②)として、天皇にかわって政治の実権をにぎった。①, ②に適語を入れよ。
- (2) (1)のような政治を何というか。
- (3) 藤原氏の全盛期は、何という父子のときか。父は、「この世をばわが世とぞ思う 望月の欠けたることも 無しと思えば」という歌をうたった人物である。
- (4) 藤原氏はどのようにして勢力をのぼしたか。「娘」「天皇」「きさき」という語句を使って説明せよ。
- (5) 平安時代半ばの貴族たちは、唐風の文化をふまえながらも、日本の風土や生活、日本人の感情に合った文化を生み出していった。これを何文化というか。
- (6) 漢字を変形させて、日本語の発音を表せるようにくふうした文字を何文字というか。
- (7) 紫式部が書いた長編小説は何か。
- (8) 清少納言が書いた随筆は何か。
- (9) 紀貫之らが編集した和歌集は何か。
- (10) 平安時代の貴族が住んだ美しい自然を庭園に取り入れた邸宅の建築様式を何造というか。
- (11) 右の建物は、(3)の人物の 1 人(子のほう)が、宇治に建てたものである。何というか。
- (12) (11)は何という信仰の影響を受けているか。



[解答欄]

(1)①	②	(2)	
(3)父 :	子 :		
(4)			
(5)	(6)	(7)	(8)
(9)	(10)	(11)	(12)

[解答](1)① 摂政 ② 関白 (2) 摂関政治 (3)父：藤原道長 子：藤原頼通 (4) 娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てることで勢力をのぼした。 (5) 国風文化 (6) 仮名文字 (7) 源氏物語 (8) 枕草子 (9) 古今和歌集 (10) 寝殿造 (11) 平等院鳳凰堂 (12) 浄土信仰

【】 武士の成長

[武士の発生]

[問題](2 学期期末)

10 世紀になると、豪族が開墾した私有地を領地として広げ、国の警備に武力を発揮し勢力をのぼした。都では、朝廷の武官が貴族の身边や屋敷の警備を行い、実力を認められていった。この地方の豪族と中央の武官との、婚姻や主従関係を結ぶなどの交流の中から()がおこった。()に適する語句を漢字 2 字で答えよ。

[解答欄]

[解答]武士

[解説]

摂関政治では、地方の政治は国司まかせで、本来なすべき国司への監督も怠っていた。国司は、4 年の任期中に私腹を肥やすことには熱心であったが、治安の維持などの本来の職務を怠ることが多かった。このころ、荒れ地を開墾して私有地を広げるなどして、有力農民や豪族が成長していった。国司が暴政を行い、政治が乱れてくると、土地所有権をめぐる

て国司と豪族・有力農民、豪族・有力農民どうしの争いがおこり、また、盗賊の横行など治安の乱れもひどくなってきた。こうした状況の中で、豪族や有力な農民は土地を守るために弓矢や刀で武装するようになり、国司の税の取り立てに対抗したり、たがいに土地をめぐる争ったりするようになった。

都では、朝廷の武官が貴族の身边や屋敷の警備を行い、実力を認められていった。この地方の豪族と中央の武官との、婚姻や主従関係を結ぶなどの交流の中から武士がおこった。武士は、地方では実力をもっているが、貴族からは低くあつかわれていた。そこで、天皇の子孫で源・平の姓をもつ貴族や、藤原氏の一族が国司として地方に来ると、その家来になったり、彼らと婚姻関係を結んだりして、生まれた子に源氏や平氏などの一族だと名のらせた。こうして源氏・平氏などの武士団が生まれた。

※この単元はときどき出題される。

[武士の発生] 10世紀ごろ ↓ 武士団 (源氏や平氏)

[問題](2 学期中間)

次の文章中の①～④に適語を入れよ。

10 世紀になると、地方で大きな変化が起き、豪族が開墾した私有地を領地として広げ、国の警備に武力を発揮し勢力をのぼした。都では、朝廷の武官が貴族の身边や屋敷の警備を行い、実力を認められていった。この地方の豪族と中央の武官との、婚姻や主従関係を結ぶなどの交流の中から(①)がおこり、(①)はやがて家来をまとめて(②)をつくるほどに成長していった。(②)のなかでも天皇の子孫とされる(③)氏と(④)氏のひきいる勢力が最も有力になった。(③と④は順不同)

[解答欄]

①	②	③	④
---	---	---	---

[解答]① 武士 ② 武士団 ③ 源 ④ 平(③と④は順不同)

[武士の成長]

[問題](2 学期中間)

次の文中の①, ②に適語を入れよ。

10 世紀中ごろ, 関東では(①)が, 瀬戸内海では(②)が反乱をおこしたが, 朝廷は他の武士団の力にたよって, ようやくしずめることができた。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 平将門 ② 藤原純友

[解説]

10 世紀の半ば, 東西で武士の反乱が起こった。関東では, 935 年に平将門が国の役所を襲い, 自ら新皇(新しい天皇)と名のり, 一時期, 関東地方の大半を支配した。(組み込む(935)大軍平将門の乱) また, 瀬戸内では藤原純友が海賊を率いて, 国の役所や大宰府をおそった。朝廷は, 武士の力をかりてこの 2 つの反乱をようやくしずめることができた。

東北では, 蝦夷の子孫である阿倍氏や清原氏が力をのぼしていたが, 11 世紀の後半に, かれらの勢力争いで前九年合戦・後三年合戦が起こった。朝廷から派遣された源義家が, 関東の武士を率いてこれをしずめたので, 源氏の武士団は東日本で大きな勢力となっていく。後三年合戦以降, 陸奥・出羽地方を支配したのは奥州の藤原氏であった。奥州の藤原氏は, 平泉を根拠地として栄え, 浄土信仰の影響を受けた中尊寺金色堂を建てた。

※この単元で出題頻度が高いのは「平将門」「藤原純友」である。

[武士の成長]
 935年 平将門の反乱
 939年 藤原純友の反乱
 1051年 前九年合戦
 1083年 後三年合戦
 奥州の藤原氏(平泉)



[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 10 世紀中ごろ, 関東地方で反乱をおこした人物は誰か。
- (2) 10 世紀中ごろ, 瀬戸内海で海賊を率いて反乱をおこした人物は誰か。
- (3) 11 世紀後半, 朝廷から派遣されて東北地方の大きな戦乱をしずめた人物は誰か。

[解答欄]

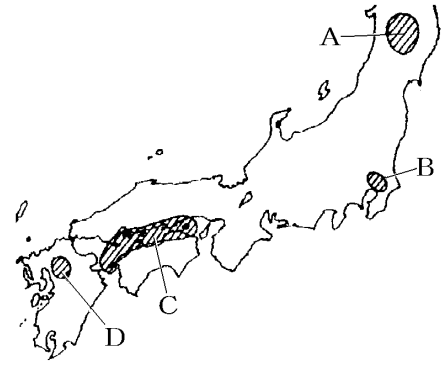
(1)	(2)	(3)
-----	-----	-----

[解答](1) 平将門 (2) 藤原純友 (3) 源義家

[問題](3 学期)

次の①～③の、武士による戦いが起こった地域を
右の地図中 A～D からそれぞれ選び、記号で書け。

- ① 平将門の乱
- ② 藤原純友の乱
- ③ 後三年合戦



[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① B ② C ③ A

[問題](1 学期期末)

後三年合戦について、次の各問いに答えよ。

- (1) このできごとは、豪族清原氏の一族の内紛から始まる。これを鎮圧した源氏の武将を書け。
- (2) このできごと以降、陸奥・出羽地方を支配したのは何氏か。
- (3) (2)の一族の根拠地はどこか。地名を書き、その位置を右の地図中のア～ウから1つ選び、記号を書け。
- (4) (3)の地に建立された、金色堂で有名な寺を何というか。



[解答欄]

(1)	(2)	(3)	(4)
-----	-----	-----	-----

[解答](1) 源義家 (2) 奥州の藤原氏 (3) 平泉, イ (4) 中尊寺

[問題](1 学期期末)

10 世紀には朝廷の支配に武力で反抗するものも現れた。これらの反乱をおさえたのは誰か。
次のア～エから 1 つ選べ。

- ア 他の武士団
- イ 天皇が自分でひきいる軍隊
- ウ 都の貴族たち
- エ 防人や衛士

[解答欄]

--

[解答]ア

[武士と荘園]

[問題](2 学期期末)

次の文章中の①, ②に適語を入れよ。

武士は、館を築いて土地の開発を進め、領地を中央の貴族や寺社に(①)して(②)
とし、その保護を受けて勢力を広げたが、武士の成長を支えたのはこの(②)であった。

[解答欄]

①	②
---	---

[解答]① 寄進 ② 荘園

[解説]

地方の武士の中には荒れ地を開墾して私有地を広げる者が出てきた。彼らは土地にかかる租税を逃れるために、土地を藤原氏などの有力貴族や大きな寺院に寄進して荘園とし、税の免除を受け、自分は名目上荘官しやうかんになって、有力貴族等に(税よりは少ない)年貢ねんぐを納めるようになった。

※この単元はたまに出題される。

[問題](2 学期中間)

10 世紀ごろ、荒れ地を開墾して私有地を広げた地方の武士は、貴族や大寺社に表向きの荘園領主になってもらった。これについて、次の各問いに答えよ。

(1) 地方の武士はなぜこのようにしたか。その理由にあてはまるものを次から選べ。

- ア 自分も貴族になるため。
- イ 荘園で働く人を増やすため。
- ウ 国司への税を免除してもらうため。
- エ 土地を共同で開墾するため。

(2) 地方の武士は何という役人になって荘園を支配したか。

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) ウ (2) 荘官

[院政]

[問題](1 学期期末)

後三条天皇のあとを受けた白河天皇は、位をゆずって上皇となったのちも、摂政や関白の力をおさえて政治を行ったが、この政治を何というか。

[解答欄]

--

[解答]院政

[解説]

摂関政治の最盛期は 11 世紀前半～中ごろの藤原道長

・藤原頼通親子の時代であったが、藤原頼通の娘には皇子が生まれなかったため、1068 年に藤原氏との関係がうすい後三条天皇が即位し、荘園の整理などを行った。

その後を継いだ白河天皇は東国に勢力をもつ源氏と、西国に勢力をのばした平氏を用いて、新しい政治を行った。白河天皇は、1086 年に位を幼い皇子にゆずって上皇になってからも政治の実権をにぎり、藤原氏に不満をもつ下級貴族等の支持を受けて、摂政・関白をおさえて院政を行った。

上皇は税の免除などの権利を荘園に与えたので、荘園が上皇のもとに集まった。また、寺社は、神仏の力によって政治を行った上皇に保護されたので、多くの荘園を持ち、武装する僧(僧兵)をかかえて勢力を広げていった。

※この単元で特に出題頻度が高いのは「院政」である。「白河天皇(上皇)」もよく出題される。

[院政]

1068年 後三条天皇 即位
(藤原氏と血縁がうすい)

1086年 白河上皇 が院政 を始める

[問題](3 学期)

次の文章中の①～⑤に適語を入れよ。

藤原氏との血縁がうすい後三条天皇は、天皇に政治の実権を取り戻そうとした。その後を継いだ(①)天皇は武士を用いて新しい政治を行った。その後、(①)天皇は天皇の位を 8 歳の子にゆずって(②)となり、院と呼ばれる御所に住んだ。そして、院に移ったあとも政治を行った。(②)が動かす朝廷の政治を(③)という。上皇は税の免除などの権利を(④)にあたえたので、(④)が上皇のもとに集まった。また寺社は、神仏の力によって政治を行った上皇に保護されたので、多くの(④)を持ち、武装する(⑤)をかかえて勢力を広げていった。

【解答欄】

①	②	③	④
⑤			

【解答】① 白河 ② 上皇 ③ 院政 ④ 荘園 ⑤ 僧兵

【問題】(2 学期期末)

1086 年，白河上皇が摂関家をおさえて院政を行った。院政とはどのような政治か。

【解答欄】

--

【解答】天皇を退位した後も上皇として政治を行うこと。

【保元の乱・平治の乱】

【問題】(3 学期)

次の文章中の①～④に適語を入れよ。

上皇が力を持つと、それに不満を持つ天皇もあらわれた。上皇と天皇の対立が起こり、これに藤原氏一族の争いが結びついて、1156 年に、(①)の乱が起きた。上皇も天皇も、平氏と源氏の軍を集めて戦った。しかし、天皇方が院へ夜討ちをかけ、数時間の戦いで勝った。その結果、天皇方についた(②)と源義朝が勢力を強めた。

ついで、1159 年、(③)の乱が起こった。源義朝は(②)を討とうとして敗れ、その子の頼朝は伊豆に流された。こうして、源氏は朝廷での勢力を失った。戦いに勝った(②)は、1167 年、武士としてはじめて(④)となり政治の実権をにぎった。

【解答欄】

①	②	③	④
---	---	---	---

【解答】① 保元 ② 平清盛 ③ 平治 ④ 太政大臣

【解説】

白河上皇のあとも約 100 年間、院政が続いた。

1156 年、上皇と天皇があとつぎをめぐって対立して保元の乱が起きた。(いいころ(1156)に起こった保元の乱) このときに活躍した平清盛

と源義朝は、その後対立を深め、1159 年、義朝が清盛を討とうとして敗れ、義朝の子頼朝は伊豆に流された。これを平治の乱という。

戦いに勝った平清盛は、1167 年、武士としてはじめて太政大臣となり政治の実権をにぎった。(いちいち無理な(1167)清盛さん)

【保元の乱・平治の乱】

1156年 保元の乱 (天皇と上皇の対立)

1159年 平治の乱 (平清盛と源義朝の対立)

1167年 平清盛 が太政大臣となる

※この単元で特に出題頻度が高いのは「平清盛」である。「保元の乱」「平治の乱」「太政大臣」の出題頻度も高い。

[問題](2 学期中間)

右の年表について、各問いに答えよ。

- (1) 年表のア, イに適語を入れよ。
 (2) 次の①, ②の文は年表中の A, B のどちらと
 かかわりが深い。それぞれ, A, B のいずれ
 かの記号で答えよ。

年代	おもなできごと
1086 年	白河上皇が院政を始める。
1156 年	(ア)の乱がおこる。…A
1159 年	(イ)の乱がおこる…B
1167 年	平清盛が太政大臣となる。

- ① 武士の棟梁同士の対立と、藤原氏一族の
 対立から起こった。
 ② 天皇と上皇の対立から起こった。

[解答欄]

(1)ア	イ	(2)①	②
------	---	------	---

[解答](1)ア 保元 イ 平治 (2)① B ② A

[問題](2 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 武士としてはじめて太政大臣になった人物は誰か。
 (2) (1)の人物が政治の上で大きな力をふるうきっかけになった 2 つの戦乱をそれぞれ何とい
 うか。

[解答欄]

(1)	(2)
-----	-----

[解答](1) 平清盛 (2) 保元の乱, 平治の乱

[平氏の政治]

[問題](2 学期中間)

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

平清盛は、武士としてはじめて(①)の役職につき、政治の実権をにぎった。また、
 (②)との貿易にのりだし、瀬戸内海の航路を整え、(③)の港を修築して大型船が直接
 入港できるようにした。この貿易による利益が平氏の発展をささえた。しかし、平清盛は娘
 を天皇のきさきとし、一族で高い官職を独占し、多くの公領や荘園を支配した。そのやり方
 は貴族とかわらないものであったため、貴族や寺社の反感をかい、地方の武士の中にも不満
 をいただく者が増えた。

[解答欄]

①	②	③
---	---	---

[解答]① 太政大臣 ② 宋 ③ 兵庫

[解説]

平清盛は、兵庫の港を整備して、中国の宋との貿易を行った。清盛は、娘を天皇のきさきとし、その子を天皇にして朝廷の中で実権をにぎった。

平氏一族で高い官職を独占し、多くの公領や荘園を支配した。そのやり方は貴族とかわらないものであったため、貴族や寺社の反感をかい、地方の武士の中にも不満をいだく者が増えた。

※この単元で出題頻度が高いのは「平清盛」「宋との貿易」である。

[平氏の政治]

1167年 平清盛が太政大臣となる
兵庫の港を整備→宋との貿易



[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 平清盛が 1167 年に武士としてはじめてついた役職は何か。
- (2) 平清盛は中国との貿易で財をなしたが、当時の中国の王朝は何か。
- (3) 平清盛が朝廷の中で実権をにぎった方法を「娘」「きさき」の語句を使って書け。

[解答欄]

(1)	(2)
(3)	

[解答](1) 太政大臣 (2) 宋 (3) 娘を天皇のきさきとし、その子を天皇にして朝廷の中で実権をにぎった。

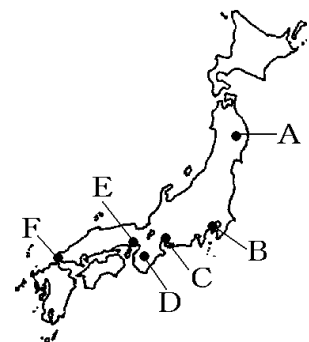
[問題](1 学期期末)

次の文章を読み、後の各問いに答えよ。

(①)と平氏は a 朝廷の警護などをとおして中央へ勢力をのばし、やがて、貴族や武士との争いに勝利した平氏が実権をにぎり政治を行うようになった。

b(②)は太政大臣となり、娘を(③)のきさきとし、一族で高い官職を独占し、多くの公領や(④)を支配した。そのやり方は貴族とかわらないものであったため、貴族や寺社の反感があった。

- (1) ①～④に適語を入れよ。
- (2) 下線部 a について、武士たちは興福寺や延暦寺の武装した僧からも朝廷を守った。武装した僧を何というか。



- (3) 下線部 b について，平氏以外の他の武士たちはどう考えたか。簡潔に書け。
- (4) ②は中国の何という国と貿易を行ったか。漢字 1 字で書け。
- (5) ②が貿易を行うため，1)開いた港の名前を書け。2)また，その港の位置を図の A～F から選んで答えよ。

[解答欄]

(1)①	②	③	④
(2)	(3)	(4)	(5)1)
2)			

[解答](1)① 源氏 ② 平清盛 ③ 天皇 ④ 荘園 (2) 僧兵 (3) 不満を持った。 (4) 宋 (5)1) 兵庫 2) E

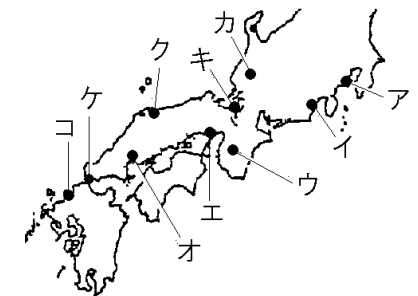
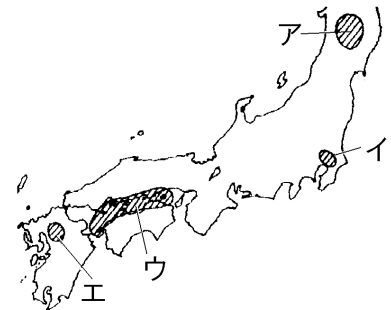
[全般]

[問題](後期期末)

次の年表を見て、後の各問いに答えよ。

年代	おもなできごと
935年	平将門が反乱をおこす。…A
939年	藤原純友が反乱をおこす。…B
1083年	後三年合戦がおこる。…C
1086年	()天皇が上皇となった後も政治の実権をにぎる。…D
1156年	上皇と天皇の対立などで、内乱がおこる。…E
1159年	平氏と源氏の争いから内乱がおこる。…F
1167年	()が政治の実権をにぎる。…G
1185年	壇ノ浦の戦いで平氏が滅びる。

- (1) 年表中の A～C について、それぞれの乱や合戦が起こった場所を右の地図中のア～エから 1 つずつ選べ。
- (2) 年表中の C のできごと以降、陸奥・出羽地方を支配したのは何氏か。
- (3) 年表中の D について、①()に適語を入れよ。
②このような政治を何というか。
- (4) 年表中の E の乱を何というか。
- (5) 年表中の F の乱を何というか。
- (6) 年表中の G について、
① ()にあてはまる人物名を答えよ。
② ①の人物が 1167 年に就任した朝廷の役職は何か。
③ ①の人物が貿易を行った中国の王朝名を書け。
④ ①の人物が貿易をするために整備した港を右の地図中のア～コから 1 つ選べ。



[解答欄]

(1)A	B	C	(2)
(3)①	②	(4)	(5)
(6)①	②	③	④

[解答](1)A イ B ウ C ア (2) 奥州の藤原氏 (3)① 白河 ② 院政 (4) 保元の乱 (5) 平治の乱 (6)① 平清盛 ② 太政大臣 ③ 宋 ④ エ

【】 総合問題

[問題](要点整理)

次の年表中の①～⑱に適語を入れよ。

年代	おもなできごと
794年	(①)天皇が都を(②)京に移す。
797年	東北地方の(③)を平定するために(④)が(⑤)に任じられる。
9世紀初め	(⑥)が(⑦)宗を開き、比叡山に延暦寺を建てる。 (⑧)が(⑨)宗を開き、高野山に金剛峯寺を建てる。
894年	(⑩)の意見により遣唐使の派遣を停止。
10世紀初め	中国では、唐が減び、小国の分立を経て(⑪)が国を統一する。 朝鮮半島では、(⑫)がおこり新羅をほろぼす。
9世紀後半 ～11世紀	藤原氏の(⑬)政治：天皇が幼いときは(⑭)として、成人してからは(⑮)として政治の実権をにぎる。娘を天皇の(⑯)にし、その子を次の天皇に立てることで勢力をのぼした。 藤原(⑰)・藤原(⑱)父子のとき、(⑬)政治が全盛。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧
⑨	⑩	⑪	⑫
⑬	⑭	⑮	⑯
⑰	⑱		

[解答]① 桓武 ② 平安 ③ 蝦夷 ④ 坂上田村麻呂 ⑤ 征夷大將軍 ⑥ 最澄 ⑦ 天台
⑧ 空海 ⑨ 真言 ⑩ 菅原道真 ⑪ 宋 ⑫ 高麗 ⑬ 摂関 ⑭ 摂政 ⑮ 関白 ⑯ きさき
⑰ 道長 ⑱ 頼通

[問題](要点整理)

次の表中の①～⑧に適語を入れよ。

文化	(①)文化：平安時代の貴族たちの、日本の風土にあった文化。 漢字を変形させてできた(②)文字。 紫式部の(③), 清少納言の(④), 紀貫之らが編集した(⑤)。 貴族の住居は(⑥)造。
宗教	(⑦)信仰：死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う。 藤原頼通は、宇治に(⑧)を建てる。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

[解答]① 国風 ② 仮名 ③ 源氏物語 ④ 枕草子 ⑤ 古今和歌集 ⑥ 寝殿 ⑦ 浄土
⑧ 平等院鳳凰堂

[問題](要点整理)

次の年表中の①～⑧に適語を入れよ。

年代	おもなできごと
935年	関東で(①)が反乱を起こす。
939年	瀬戸内海で(②)が反乱を起こす。
11世紀前半	藤原道長・頼通父子のとき、摂関政治の全盛。
1052年	前九年合戦がおこる。
1083年	後三年合戦がおこる
1086年	白河上皇が(③)をはじめる。
1156年	(④)の乱がおこる。
1159年	(⑤)の乱がおこり、(⑥)が源義朝を破る。
1167年	(⑥)が(⑦)という地位につく。 (⑥)が中国の(⑧)との貿易を行う。

[解答欄]

①	②	③	④
⑤	⑥	⑦	⑧

[解答]① 平将門 ② 藤原純友 ③ 院政 ④ 保元 ⑤ 平治 ⑥ 平清盛 ⑦ 太政大臣
⑧ 宋

[問題](前期期末)

次の年表を見て、後の各問いに答えよ。

年代	おもなできごと
794 年	都が現在の京都の位置に移される。…A 東北地方の平定。…B
894 年	遣唐使の派遣を停止。…C
9 世紀後半～11 世紀	藤原氏が政治の実権をにぎる。…D
935 年	関東で()が反乱を起こす。…E
939 年	瀬戸内海で藤原純友が反乱を起こす。
1086 年	白河上皇が()をはじめ。…F
1156 年	保元の乱がおこる。
1159 年	平治の乱がおこる。
1167 年	()が太政大臣になる。…G

- (1) 年表中の A について、①この都を何というか。②都を移した天皇は誰か。
- (2) 年表中の B について、①東北地方北部に住んでいた朝廷の支配がおよばない人々を何と
いったか。②征夷大將軍に任じられた人物は誰か。
- (3) 年表中の C について、遣唐使を停止することを進言した人物は誰か。
- (4) 年表中の D について、次の文章中の①～⑤に適語を入れよ。
藤原氏は他の有力な貴族をたくみにしりぞけて、勢力をのぼした。そして、天皇が幼
い時には(①)、成長してからは(②)という職について、政治の実権をにぎるよ
うになった。このような政治を(③)政治という。(③)政治は、(④)とその子の
(⑤)のころ、もっともさかんとなった。
- (5) 藤原氏はどのようにして勢力をのぼしたか。「娘」「天皇」「きさき」という語句を使って
説明せよ。
- (6) 年表中の E の()にあてはまる人物名を答えよ。
- (7) 年表中の F の()にあてはまる語句を答えよ。
- (8) 年表中の G の()にあてはまる人物名を答えよ。
- (9) (8)の人物は、中国と貿易を行ったが、当時の中国の王朝は何か。

[解答欄]

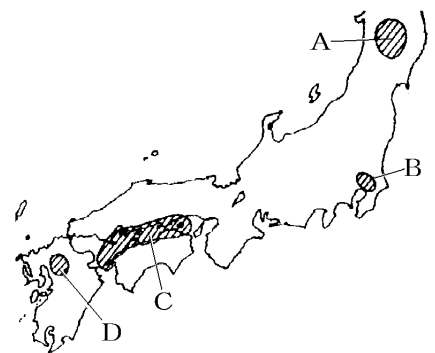
(1)①	②	(2)①	②
(3)	(4)①	②	③
④	⑤		
(5)			
(6)	(7)	(8)	(9)

[解答](1)① 平安京 ② 桓武天皇 (2)① 蝦夷 ② 坂上田村麻呂 (3) 菅原道真 (4)① 摂政 ② 関白 ③ 摂関 ④ 藤原道長 ⑤ 藤原頼通 (5) 娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇に立てることで勢力をのぼした。(6) 平将門 (7) 院政 (8) 平清盛 (9) 宋

[問題](前期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 794年に都を平安京に移した天皇は誰か。
- (2) (1)の天皇は、蝦夷の反乱をおさえるため、坂上田村麻呂を何将軍に任命したか。
- (3) 高野山に金剛峯寺を建てて真言宗を開いたのは誰か。
- (4) 比叡山に延暦寺を建てて天台宗を開いたのは誰か。
- (5) 10世紀のはじめに唐が滅んだあと、中国は多くの国に分かれて乱れていたが、10世紀半ばすぎに中国を統一した王朝名を書け。
- (6) 藤原氏は天皇が幼い時には摂政、成長してからは関白という職について、政治の実権をにぎったが、このような政治を何というか。
- (7) 「この世をばわが世とぞ思う 望月の 欠けたることも 無しと思えば」という歌を歌ったのは誰か。
- (8) 右の写真は、10円硬貨にその図が使われている京都府宇治市にある建物である。①この建物を何というか。②誰がつくったか。③何という信仰の影響を受けているか。
- (9) 平安時代に発達した、日本風の文化のことを何文化というか。
- (10)源氏物語の作者は誰か。
- (11)枕草子の作者は誰か。
- (12)(10)や(11)で使われている、漢字をもとにしてつくられた文字を何というか。
- (13)次の①、②の戦いが起こった地域を右上の地図中 A～D からそれぞれ選び、記号で書け。
① 平将門の乱 ② 藤原純友の乱
- (14)後三条天皇のあとを受けた(①)天皇は、位をゆずって上皇となったのちも、摂政や関白の力をおさえて政治を行ったが、この政治を(②)という。①、②に適語を入れよ。
- (15)保元の乱と(①)の乱で実力を示した(②)は、1167年に武士としてはじめて(③)の役職につき、政治の実権をにぎった。また、(④)との貿易にのりだし、瀬戸内海の航路を整え、(⑤)の港を修築して大型船が直接入港できるようにした。①～⑤に適語を入れよ。



[解答欄]

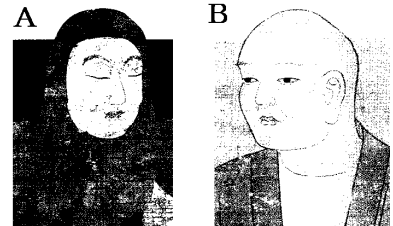
(1)	(2)	(3)	(4)
(5)	(6)	(7)	(8)①
②	③	(9)	(10)
(11)	(12)	(13)①	②
(14)①	②	(15)①	②
③	④	⑤	

[解答](1) 桓武天皇 (2) 征夷大將軍 (3) 空海 (4) 最澄 (5) 宋 (6) 摂関政治 (7) 藤原道長 (8)①平等院鳳凰堂 ② 藤原頼通 ③ 浄土信仰 (9) 国風文化 (10) 紫式部 (11) 清少納言 (12) 仮名文字 (13)① B ② C (14)① 白河 ② 院政 (15)① 平治 ② 平清盛 ③ 太政大臣 ④ 宋 ⑤ 兵庫

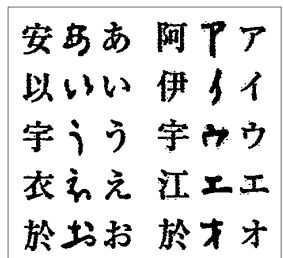
[問題](1 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- 写真 A の人物名とその宗派，また比叡山にたてた寺の名前を書け。
- 写真 B の人物名とその宗派，また高野山にたてた寺の名前を書け。
- 平安時代半ばの，唐風の文化を基礎にした日本独自の文化を何というか。



- 右の資料は，漢字を変形して，日本独自の文字ができていった過程を表している。このようにしてできた文字を何というか。
- (4)の文字を用いて書かれた次の①～③の文学作品名を書け。
 - 紀貫之らが編集した和歌集
 - 紫式部が書いた長編小説
 - 清少納言が書いた随筆



- ①世の中が不安定になり流行した，阿弥陀如来にすがって死後に極楽浄土に生まれ変わることを願う信仰を何というか。②また，宇治(京都府)につくられた代表的な阿弥陀堂である右の写真の建物を何というか。
- この時代の貴族の住居の建築様式を何というか。



[解答欄]

(1)		(2)	
(3)	(4)	(5)①	②
③	(6)①	②	(7)

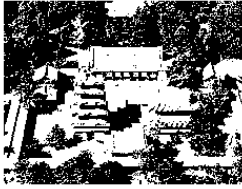
[解答](1) 最澄，天台宗，延暦寺 (2) 空海，真言宗，金剛峯寺 (3) 国風文化 (4) 仮名文字 (5)① 古今和歌集 ② 源氏物語 ③ 枕草子 (6)① 浄土信仰 ② 平等院鳳凰堂 (7) 寝殿造

【】 飛鳥・天平・国風文化総合

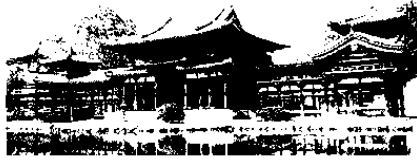
[問題](1 学期期末)

次の A～C は何時代の文化を代表するものか、それぞれ時代名を書け。

A 法隆寺



B 平等院鳳凰堂



C 琵琶



[解答欄]

A	B	C
---	---	---

[解答]A 飛鳥時代 B 平安時代 C 奈良時代

[解説]

Aの法隆寺は、飛鳥時代に聖徳太子によって建てられたものである。Bの平等院鳳凰堂は、平安時代に、浄土信仰の影響を受けた藤原頼通によって建てられたものである。Cの琵琶は、奈良時代の東大寺の正倉院におさめられている。

[問題](2 学期中間)

右の写真を見て、次の各問いに答えよ。

(1) 写真 A～C の建物の名前を次の[]からそれぞれ選べ。

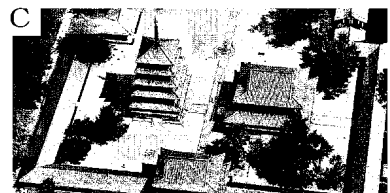
[唐招提寺 法隆寺 平等院鳳凰堂 正倉院]

(2) 写真 A～C が建てられた時代と最も関係が深い文章を、次のア～ウからそれぞれ選んで記号で答えよ。

ア 新しく開墾した土地は、永久に私有できるという法律が出された。

イ 阿弥陀如来を信仰し、死後、極楽浄土に生まれ変わることを願うという教えが広まった。

ウ 中国の文化や制度を学ぶために、小野妹子らを隋に派遣した。



[解答欄]

(1)A	B	C	(2)A
B	C		

[解答](1)A 平等院鳳凰堂 B 正倉院 C 法隆寺 (2)A イ B ア C ウ

【解説】

Aは平安時代中期の藤原頼通が浄土信仰(阿弥陀如来にすがって、死後、極楽浄土に生まれかわろうとする信仰)の影響を受けて建てた平等院鳳凰堂である。Bは奈良時代の東大寺の正倉院で、聖武天皇の遺品が納められている。(2)アの「新しく開墾した土地は、私有地として自分のものにできる法律」とは743年、聖武天皇の時代に出された墾田永年私財法である。Cは、推古天皇の摂政として活躍した聖徳太子が建てた法隆寺である。聖徳太子は607年に遣隋使を派遣した。

【問題】(1 学期期末)

奈良・平安時代の文化について、次の表の①～④にあてはまる作品を答えよ。

奈良時代	平安時代
歴史書：「古事記」「①」	和歌集：「③」(紀貫之などの編集)
地理書：「②」	文学作品：「④」(紫式部)
和歌集：「万葉集」	「枕草子」(清少納言)

【解答欄】

①	②	③	④
---	---	---	---

【解答】① 日本書紀 ② 風土記 ③ 古今和歌集 ④ 源氏物語

【問題】(2 学期期末)

各時代の文化についてまとめた次の表を見て、後の各問いに答えよ。

	飛鳥時代	奈良時代	平安時代
文化名	飛鳥文化	(①)文化	(②)文化
特徴	仏教をもとにした文化	仏教と唐の文化の影響を強く受けた文化	(③)
代表作	④	⑤	⑥

- (1) 表中の①、②にあてはまる文化名を答えよ。
- (2) 表中の③にあてはまる平安時代の文化の特徴を、次のア～ウから1つ選べ。
- ア 素朴で力強い感じを与える文化
 - イ 日本の風土や生活、日本人の感情にあった文化
 - ウ 簡素で気品のある文化
- (3) 次の[]は、④～⑥のいずれかにあてはまる。あてはまるものをそれぞれ答えよ。
- [東大寺 法隆寺 古事記 枕草子 万葉集 仮名文字 源氏物語 日本書紀 古今和歌集]

[解答欄]

(1)①	②	(2)
(3)④	⑤	
⑥		

[解答](1)① 天平文化 ② 国風文化 (2) イ (3)④ 法隆寺 ⑤ 東大寺, 古事記, 万葉集, 日本書紀 ⑥ 枕草子, 仮名文字, 源氏物語, 古今和歌集

[印刷/他の PDF ファイルについて]

※ このファイルは、FdData 中間期末社会歴史(7,800 円)の一部を PDF 形式に変換したサンプルで、印刷はできないようになっています。製品版の FdData 中間期末社会歴史は Word の文書ファイルで、印刷・編集を自由に行うことができます。

※FdData 中間期末(社会・理科・数学)全分野の PDF ファイル、および製品版の購入方法は <http://www.fdtype.com/dat/> に掲載しております。

下図のような、[FdData 無料閲覧ソフト(RunFdData2)]を、Windows のデスクトップ上にインストールすれば、FdData 中間期末・FdData 入試の全 PDF ファイルを自由に閲覧できます。次のリンクを左クリックするとインストールが開始されます。

【 <http://fddata.deci.jp/lnk/instRunFdDataWDs.exe> 】

※ダイアログが表示されたら、【実行】ボタンを左クリックしてください。インストール中、いくつかの警告が出ますが、[実行][許可する][次へ]等を選択します。

【イメージ画像】



【Fd 教材開発】(092) 404-2266

<http://www.fdtype.com/dat/>